



県人勤に向けて熊谷人事委員長（写真左から二人目）と交渉する地公共闘交渉団（右）

岩手県職労

月2回刊=1422号
2014年10月15日 発行
発行日 毎月15日30日
発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内 岩手県職員労働組合
印刷所 盛岡市上田二丁目17-4 有限会社 ジロー印刷企画 一部 40円
組合員購読料は組合費に含む



交渉団の支援で県庁内に座り込む県職労組合員



県公会堂大ホールでの総決起集会

2014県人勤

7年ぶりの給与改定

「総合的見直し」報告に止める

月例給10015円、一時金0.05月引き上げ

県人事委員会は9日、知事及び県議会議長に対し別記内容の報告と報告を行った。また、「現給保障」については今年度末での廃止を勧告、07年～09年の昇給抑制分の回復措置について併せて報告した。一方、「給与制度の総合的見直し」については、全国的に報告が行われている中、「国・他県の動向等踏まえて検討」との報告に止めた。

諸課題の前進は「秋期闘争への結集力」がカギに

県地方公務員共闘会議（議長・砂金良昭岩教組委員長）は、2度の県庁内座り込みでの交渉支援行動を背景に4度の交渉を行い、月例給・一時金の引き上げと現給保障の維持、「給与

今勧告での見送りを求めた「給与制度の総合的見直し」について人事委員会の強硬姿勢を跳ね返し、全国で初めて「報告」に止めさせたことは大きな成果だが、「国の制度ありき」で県当局が強行導入しないよう今後の交渉を強化してい

く必要がある。また、「報告」された現給保障の廃止についてもねばり強く継続を求めていく。この他、人勤で対象外となった地域の寒冷地手当見直しについて合併前の旧町村単位での指定基準の適否による検討に言及したところ、通勤手当について、ガソリンの高騰に伴う改定の

必要性について報告したところ等について評価できるが、職場と生活の困難さには変わりはなく、引き続き14秋期闘争においても支部・分会のたたかう態勢の継続・強化を図っていかねればならない。諸課題の前進と改善はどれだけの組合員が秋闘に結集できるにかかっている。

2014現業・公企統一闘争、確定闘争勝利 自治労県本部総決起集会

◆日時：10月25日（土） 午後1時30～
◆場所：「JAいわて花巻総合営 農指導拠点センター」（花巻市野田335-2）

総決起集会成功へ 多くの結集を!

【人事委員会勧告の概要】

- 月例給：人事院勧告における俸給表のとおり県の給料表を改定 **勧告**

公民比較給与		較差 (A-B)	
民間 (A)	職員 (B)	較差額	較差率
368,907円	367,892円 (366,868円) 【366,959円】	1,015円 (2,039円) 【1,948円】	0.28% (0.56%) 【0.53%】

※ 上段：比較較差、中段：管理職等の特別調整額減額後の較差、下段：現給保障なしの場合の較差
- 一時金：0.05月引き上げ（民間3.96月・県職員3.90月） **勧告**

	6月期	12月期
2014年度 期末手当	1,200円（支給済み）	1,350円（改定なし）
2015年度 期末手当	0,675円（支給済み）	0,725円（現行0.675月）
2015年度 以降 期末手当	1,200円	1,350円
2015年度 以降 勤奨手当	0,700円	0,700円
- 現給保障：給与構造改革における経過措置（現給保障）を2015年3月末で廃止し、併せて昇給回復を実施 **勧告**
- 寒冷地手当：メッシュ平年値2010を用いて国人勤に準じ支給地域を見直し。 **勧告**
引き続き指定基準を満たすにも関わらず、市町村合併により指定解除となる地域については、指定の必要性について検討することが適当。 **報告**
- 給与制度の総合的見直し：現給保障の廃止及び昇給回復の措置を実施した上で、国及び他の都道府県動向、総務省の検討報告等を踏まえ検討を行う。 **報告**
- 通勤手当：交通用具使用者に係る通勤手当は、実費弁証的な手当としての性格上、県内の最近のガソリン価格の動向等を考慮し、今後の改定の必要性について検討することが適当。 **報告**
- 高齢期の雇用：職務分担や組織体制等の諸課題について任命権者と連携して早急に検討する必要がある。再任用職員の給与は人事院における検討内容を踏まえて引き続き検討を進めていく必要があると考える。 **報告**
- 超過勤務の縮減：任命権者において、業務等に応じた適切な人員体制を確立するとともに、管理者のリーダーシップや職員の相互理解により、超過勤務縮減や年休取得が促進されることを期待する。 **報告**
- 心身の健康管理：職員の健康管理対策への重点的かつ能動的な取り組みを継続するとともに、ハラスメント対策の一層の充実に期待。 **報告**

先日通過した台風は各地に被害をもたらした。災害は「忘れた時にやってくる」が定説だったが、「忘れる間もなくやってくる」のが最近の特徴だ。時間雨量20ミリ超で災害と言われるが、近年ゲリラ豪雨などで100ミリを超すことも珍しくなくなり、御嶽山の噴火や東日本大震災津波などの甚大な被害が頻発し、多くの犠牲者も出ている。▼その中でボランティアの活動も進化している。阪神・淡路大震災で、全国から集まるボランティアに地元が対処しきれなかった経験を教訓に、ボランティアの対処をするボランティアグループが誕生し、東日本大震災をはじめ、各被災地で活躍している。助け合いの輪が広がる。中新しい仕組みが作られている▼災害対策は自治体の役割が基本となるのは言うまでもない。しかし、人員削減が進み、十分な対応が出来ていない実態が明らかになっていく。防災対策の強化が求められるが、それを支える人的体制も強化されなければ本意の意味での「危機管理」にはなり得ない。▼いよいよ確定闘争。住民の暮らしを守るためにも、人員要求の声を上げていこう。

第五世代

集まろう! 交流しよう!

- ◆日 時 : 11月15日 (土) AM11時開会
~16日 (日) AM10時30分閉会
- ◆会 場 : 「雫石町営体育館」
(雫石町高前田104)
- ◆宿 泊 : 「清 温 荘」
- ◆競技種目B「ドッチビー」



※1日目午前中は、藤井由里先生(臨床心理士)のココロの元気復活講座もあります。
2日目は午前9時から、交流イベント第2部として、室内ゲーム・クイズ等で交流を深めることにしています。
詳しくは、各支部書記局まで。

<昨年の青年婦人部の交流会"ドッチビー"風景>

県職労スポーツ祭典

民主主義の危機!

ねばり強い取り組み続けよう

戦争させない 県民集会

「戦争をさせない岩手県委員会」が主催する「戦争をさせない! 県民総決起集会」が9月13日、盛岡市の岩手教育会館大ホールで開かれ、県内各地から約600人が参加した。



講演する菅原文太さん

集团的自衛権行使反対で団結ガンバロー



集会後盛岡市内をデモ行進する集会参加者

主催者を代表してあいさつした弁護士石橋乙秀さんは「国民が声を大にして訴えても、政府は一向に耳を貸さない。もはや民主主義が大きな危機を迎えている。粘り強く運動を続けていこう」と呼びかけた。

第56回平和友好祭岩手県祭典

今気づく「生命より経済優先」

原発誘致で大熊町の仲間から報告

10月5日~6日に第56回平和友好祭岩手県祭典が花巻市で開催され、県職労からは、3人が参加した。初日には、福島原発の被害を受けた大熊町役場で働く愛場学さんから、「原発を受け入れて経済は潤った。しかし、原発は安全であるとお互いが騙し合った

さんが「黙っていないで立ち上がれ!」と題して講演。「塾は上級の学校に行くための手段であって、人生の真実なんて教えられる。塾に行かせるより『戦争』をしてはいけないことを教えるべきじゃないか。自分

も酒を飲み続けていた時期もあるけれど、今思えば、しっかり学んで政府に対してしっかりとものを言い続けるべきだった」と自身の戦争体験を交えながら、人生で大切なことや進むべき方向性を訴えた。

集会後、参加者全員で盛岡市内をデモ行進。「集团的自衛権行使容認反対」などシュプレヒコールをあげながら戦争のできる国づくりに反対を訴えた。

自分も同じ状況だったら騙されてしまうと思った。今まで、同年代の職員と平和や社会について話す機会が少なかったが、おかしなことをみんなで認識していきたい」と決意が示された。「平和」を計る明確なものさしはなく、今の状況をすぐに判断できない。「平和」について考える機会に積極的に参加し、「今は平和だろうか」「平和とは何か」を考えていこう。



"原発誘致"で講演する大熊町の愛場さん



分散会交流のようす

大船渡市議補欠選挙

平田 ミイ子 さん

(県職労特別中央執行委員)

の組織内擁立を決定



11月に行われる大船渡補欠選挙に、「平田ミイ子」さんを、組織内候補者として擁立していくことについて、13日の第9回中央執行委員会で決定した。補欠選挙は、11月16日告示・23日投開票の日程で行われ、欠員1議席を争う。補欠選挙勝利へ、組合員の皆様の、知人友人への声かけをよろしくお願い致します。

プロフィール

- ◆生年月日 1954年11月13日
- ◆経 歴 1973年 岩手県立大船渡高校卒業
1990年 大船渡市議会議員(1990年~2004年5月)
大船渡市議会議員(2008年~2012年5月)
- ◆特 技 弓道(錬士五段)

お品書き

□ 総合(慶平)共済 基本型追加型
…… たすけあいの保障

□ 団体生命共済
…… いのちと健康の保障

□ 長期共済/税制進格年金
…… 今からはじめる
退職後のための積立保障

□ 親子共済
…… お子さまのための積立保障

□ じっくりマイカー共済
…… くるまに関する補償

□ 火災共済+
自然災害共済
…… 住まいの保障

じちろうの共済は、組合員と家族の皆さまの安心をバックアップするための制度です。生命・医療保障、退職後の保障から自動車や住宅の損害まで、生活全般の保障をご用意しております。



全労済 全国労働者共済生活協同組合連合会
自治労共済本部 全日本自治体労働者共済生活協同組合